

9月27日

2年ぶりに赤ちゃんウミガメの放流会



国東町富来浦の羽田海岸で、アカウミガメの放流会が開催されました。今回の放流会では、57匹の子ガメが放流され、海に帰っていく姿を約100人の地元の方たちが見守りました。市内でウミガメの保護活動に取り組んでいる「NPO法人国東市手と手とまちづくりたい」(宮園正敏理事長)によると、今回ふ化したのは7月29日早朝に、同海岸に上陸した親ガメが産卵したもので、市内では2年ぶり、同海岸では約40年ぶりではないかとのことでした。



10月2日



29名の赤ちゃん力士が大奮闘

国見町竹田津の武多都神社で秋季大祭が開催され、赤ちゃん相撲が行われました。武多都神社の「赤ちゃん相撲」は、子どもの無病息災と健やかな成長を祈願する伝統行事で、市内外から3歳までの赤ちゃん力士29名が参加しました。白装束の男性に抱えられ取り組みが始まると、境内は、元気な泣き声と保護者らの笑い声に包まれました。



10月1日



六郷満山開山1300年祭イベント「修正鬼会の世界展」始まる

六郷満山開山1300年祭イベントとして修正鬼会の世界展「鬼とかす仏」が、国東市歴史体験学習館で始まりしました。今回の企画展では、六郷満山の民俗芸能「修正鬼会」の鬼面ばかり約100点が一堂に会しました。六郷満山開山1300年祭実行委員長の秋吉文隆さんは、「現在では修正鬼会を行っていない寺院の鬼面も多数展示されています。どれひとつと同じ表情の面がありませんので、この機会にぜひ、じっくりと見比べてもらいたい」と話していました。



10月8日



国東オリーブを多くの方に知ってもらうために開催された「くにさきオリーブ収穫体験ツアー2016」。参加者は、国見町大熊毛のオリーブ畑でよく実ったオリーブの収穫体験をしました。その他にも国東オリーブと地元の食材をたくさん使ったイタリア料理や、ハンドクリーム作り、オリーブオイルのテイastingも楽しみました。

オリーブ収穫体験バスツアー



10月14日

炎をめぐる激しい攻防 ケベス祭

国見町檜来の檜来社(岩倉八幡社)で行われた伝統行事「ケベス祭」は、穏やかな天候に恵まれ、昨年よりもさらに多い約1,100名の参観人が訪れました。息子の結大くんがトウバとしてデビューする年にケベス役選ばれた古田健太さん(国見町檜来)は、気持ちの入ったトウバとの炎をめぐる攻防を見せました。ケベスが火に飛び込んだ後はトウバたちが燃え盛るシダの束を持って駆け回り、逃げ惑う観客の歓声と悲鳴が境内に響き渡りました。



9月28日



国見中学校で弦楽演奏会

国見中学校で、「室内楽おおいた~grand(グラン)」の演奏会が行われました。今回の演奏会は、生徒たちに生演奏を聴かせてあげたいと、大分県芸術文化振興会議が行っている「芸振文化キャラバン」に応募したことで実現しました。生徒会長の佐藤克哉さんは、「知っている曲もあり、クラシックを身近に感じることができました。特に、校歌を素晴らしい演奏の中で、みんなで歌ったのは気持ち良かったです」と感想を語っていました。



10月1日



秋空に「人権の花」が咲く

伊美小学校と国東小学校で、「人権の花」風船飛ばしが行われました。両校は、今年度、「人権の花」運動実施校に指定され、配布された花の苗をこれまで大事に育ててきました。育てた花から採れた種は風船につけられ、運動会だったこの日、保護者の方たちと一緒に飛ばされました。心配された雨が降ることもなく、風船は空高く飛んでいきました。



10月15日

若き射手、願いを込め駆け抜ける



国見町の伊美別宮社で伝統行事「流鎗馬」が行われました。五穀豊穡や家内安全を祈願する同社の秋季大祭の神事の1つで、馬に乗った射手が境内の直線路を疾走しました。射手を務めたのは、国見町伊美に住む団体職員の岐部誠治さんで、5月から特訓を重ねて本番に挑みました。矢が的に命中すると、参拝客や家族から大歓声が起こりました。